

編集後記

40 を超える猛暑や大雨，相次ぐ台風など日本中が自然の猛威に振り回された今年の夏もようやく終わりました。被災された方々が一刻も早く元の生活に戻れるようお祈り致します。

誌上ギャラリーには肥薩おれんじ鉄道の観光食堂列車が長閑な景色の中に行く一瞬を捉えた快作を宇根先生にお寄せいただきました。いつか乗車してみたいものです。

論説と話題は第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会のご報告です。我が国のニーズに合った新たなプライマリ・ケアを構築するため，総合診療を目指す多職種連携や地域連携などが求められているとのことでした。

トピックスは市消防発足70周年記念祭典で本会へ感謝状を贈呈いただいたご報告です。

医療トピックスはくすり一口メモで，新しいインフルエンザ治療薬の特徴と他の抗インフルエンザ薬との比較です。今年の流行期に早速役立ちそうです。

学術は3題です。鹿児島医療センター泌尿器科からは経尿道的膀胱腫瘍一塊切除術に関する検討をお寄せいただきました。従来の細切法に比べて正確な病理診断が可能ですが再発率には有意差なしとのこと。続いては同センター脳血管内科からの脳梗塞後再発予防目的抗血栓療法における維持・管理ポイントです。厳格なリスク管理と適切な治療法の選択及び継続とアドヒアランス向上が重要になります。更に，婦人科ロボット手術に関する鹿児島大学小林先生の講演内容をお寄せいただきました。保険適用拡大に伴う症例増加と術者の技術習熟が望まれます。

医師会病院だよりはトレッドミル負荷心電図検査の紹介と，診療報酬改定による生理機能検査の一部増点及びホルター心電図受託の案内です。引き続き患者ご紹介の程よろしくお願い致します。

随筆・その他も盛りだくさんです。古庄先生の「切手が語る医学」ではニューカレ

ドニアとガンビア発行の人物切手をご紹介いただきました。小田原先生の事故調シリーズ19回目は「医療事故調査制度の見直しと支援団体等連絡協議会・制度定着へ向けて」です。ガイドラインに沿った適切な現場での運用を，とのご要望でした。武元先生からは部活オーバーレーニングで熱中症と行軍血色素尿症をきたした症例をご提示いただきました。つかの間の別れと再会を綴った上ノ町先生の「吾輩は財布である」にハラハラし，濱田先生のリレー随筆「Dr. Heliに乗ってみて」に記されたドクヘリ運用のコツや搭乗時の具体的な描写になるほどと感心しました。先生方，ご寄稿ありがとうございます。

区・支部だよりは期間中開催された各支部会の中で谷山・錦江支部からご盛会の様子をいただきました。支部毎に会の特徴は少し違うようで，拝読するのが楽しみです。各種部会だよりは学校医会研修会，内科医会，産婦人科医会，在宅医会事例検討会，刀圭会夏季例会のご報告です。一部の詳しい内容は学術欄にございますので，合わせてお読みください。

各種報告は理事会概要，第14回鹿児島市域糖尿病医療連携体制講習会，第2回医療安全管理研修会の模様です。新入会員紹介等，当会の動きも掲載されています。

最近では鹿市医郷壇の投稿者が若干固定してきているようです。我と思わん方々，奮って自信作をお寄せください。また前号からの新連載(?)「会長のつづやき」では会長職の一端を楽しくお教えいただいています。

某私立医大の入学者選抜に関するニュースは贈収賄から各受験者間の公平性に世間の興味が移りつつあるようですが，これを機に医師の望ましい働き方改革へと繋がっていけばと期待しております。高水準の医療を絶え間なく提供することが求められる厳しい環境ですが，皆が納得できる形の適材適所が実現すれば良いですね。

(編集委員 關根さおり)